
令和 5 年度行政評価 外部評価結果報告書

令和 6 年 2 月

総合政策部行政デジタル改革課

目 次

1 行政評価制度における外部評価の目的	1
(1) 行政評価制度の概要	1
(2) 外部評価の目的	1
2 外部評価の実施方法	2
(1) 外部評価者	2
(2) 外部評価対象事業	2
(3) 外部評価の視点	3
(4) 外部評価の実施に向けたスケジュール	4
(5) 外部評価当日の流れ	4
3 外部評価の結果	5
(1) 結果概要	5
(2) 各事業の評価結果	5
①かすかべフードセレクション推進事業（観光振興課）	6
②新産業創出支援事業（商工振興課）	8
◇ 参考資料	10

1 行政評価制度における外部評価の目的

(1) 行政評価制度の概要

本市では、下記の目標を達成するため、市の総合振興計画で掲げる主要な事業を中心に事務事業の行政評価を実施しています。

【行政評価の目的】

目的1：市が進めている主な事務事業の取組や活動実績を踏まえ、継続的な見直し・改善を行う。

目的2：市政の進み具合を市民に分かりやすく示す。

本年度は、平成30年度から令和4年度までを計画期間とする「第2次総合振興計画前期基本計画」で設定された実施計画事業の198事業を対象として、令和4年度の実績について行政評価を実施することとし、各事業を所管する担当課が事業ごとに行政評価シートを作成しています。

この行政評価シートには、事務事業の現状や前年度1年間の取組の進捗（成果やコストの推移・費用対効果など）、その他、担当課の評価や今後の方向性を簡潔に記載しており、事務事業の課題を明確化することや、事務事業の改善の方向性を検証する手段として活用しています。

また、各事業を共通の評価シートを用いて市民に公表することで、市が取り組んでいる事務事業の成果の概要について、市民にわかりやすく示すことを目的に作成しています。

(2) 外部評価の目的

本市では、以下の目的を達成するため外部評価を実施しています。

【外部評価の目的】

目的1：評価の客観性や信頼性、更には透明性を高める。

目的2：市民の意見を今後の事務事業に反映させる。

事業を所管する担当課が実施した行政評価に対し、行政改革審議会委員の専門的な見地や、市民の立場からの視点により、再度、評価いただくことで、行政評価の客観性や信頼性の確保を図り、さらには、こうした意見を次年度以降の事務事業に反映させることを目的として、行政改革審議会委員による外部評価を実施します。

このように、担当課による行政評価の実施と行政改革審議会委員による外

部評価の実施により、市の総合振興計画の目標を達成するためのマネジメントサイクルが完成することで、効率的で効果的な事務事業の推進が可能になるものと考えています。

2 外部評価の実施方法

(1) 外部評価者

外部評価の実施に当たっては、本市の行政改革審議会を評価者としています。

行政改革審議会は、社会情勢の変化に対応した効率的で効果的な市政を推進するため、市の行政改革に関する事項を調査審議している附属機関であり、行政評価制度の目的に即した評価をいただけるものとして、当審議会に評価をお願いしています。

なお、行政改革審議会の委員構成は次のとおりです。

《行政改革審議会委員》

No.	役 職	氏 名	備 考
1	会 長	野崎 彰	税理士
2	副会長	宣 賢奎	共栄大学国際経営学部教授
3		蓮見 良平	株式会社武藏野銀行春日部支店長
4		臼井 俊英	春日部商工会議所常議員
5		海老原 光男	春日部ロータリークラブ理事
6		太田 紗子	庄和商工会理事・直前部長
7		濱口 達三郎	東彩ガス株式会社執行役員
8		村上 裕子	民生委員・児童委員協議会庄和南地区会長
9		竹内 美紀	市内在住
10		山本 孝枝	市内在住

(2) 外部評価対象事業

本市の本年度の行政評価の対象事業数は、198事業となっています。

外部評価の実施に当たっては、下記の選定基準に従い対象となる事業を厳選しています。

令和5年度の外部評価対象となる事業は、行政改革審議会の承認を経て、2事業を選定しました。

【外部評価対象事業の選定基準】

外部の視点から新たな切り口(取組手法)等のご意見をいただきたい事務事業で、かつ市民にとって関心があると考えられる事務事業

【外部評価対象事業】(2事業)

No.	施策番号	事業名	担当課
116	5-1-1	かすかべフードセレクション推進事業	観光振興課
123	5-2-2	新産業創出支援事業	商工振興課

(3) 外部評価の視点

外部評価は、行政評価シートに記載された担当課の評価に対して、主に次の5つの視点から審議を行いました。

また、これらの視点から意見交換を行った後に、審議会として考える事務事業の今後の方向性（拡充・現状維持・見直し・縮小）を導き出しました。

【外部評価の視点】

①「現状と課題」の的確性

- ・現状に関する記載に対し、市民感覚とのかい離はないか。
- ・課題認識の妥当性はあるか（他に課題はないか）。

②「成果の説明（サービス水準）」の的確性

- ・「成果指標」の達成率やグラフ1に対する説明は的確か。

③「成果の説明（取組内容）」の的確性及び取組内容の妥当性

- ・グラフ2に対する説明は的確か。
- ・事業を効果的に実施するための新たな（別の）取組手法はあるか。

④「今年度の評価」の妥当性

- ・担当課による当該事業の評価は妥当と認められるか。

⑤「今後の方向性」の妥当性

- ・担当課が考える方向性の他に、具体的な見直し・改善点はあるか。
- ・事業の充実に向けて、予算配分等に配慮すべき点はあるか。
- ・上記を踏まえ、担当課による「今後の方向性」（拡充・現状維持・見直し・縮小）は、妥当と認められるか（審議会としての方向性は）。

【今後の方向性の選択肢】

拡充…予算、取組増の上で継続

現状維持…計画通り継続

見直し…改善の上で継続

縮小…縮小・休止・廃止を検討

(4) 外部評価の実施に向けたスケジュール

実施日	内 容	備考（主な実施内容等）
令和5年 8月18日	第2回行政改革審議会	<ul style="list-style-type: none">外部評価の実施方法について確認外部評価対象事業の選定
9月28日 ～ 10月11日	事前質問の受付	<ul style="list-style-type: none">対象事業の行政評価シート及び概要について確認各委員からの事前質問を受付
11月1日	第3回行政改革審議会	<ul style="list-style-type: none">外部評価の実施

(5) 外部評価当日の流れ

外部評価当日は、次のような流れにより、1事業当たり概ね25～30分で実施しました。

①外部評価対象事業の説明（3分）

- 事務事業の担当課から「行政評価シート」の記載内容について、補足も含め説明



②質疑応答（10分～15分）

- 委員からの事前質問に対して担当課が回答
- 委員からの再度の質問や事前質問以外の質問に対して担当課が回答



③意見交換（10分程度）

- 事務事業の取組状況や課題、評価と今後の方向性等に対して、外部評価の視点に基づきながら、委員同士で意見交換
- ※必要に応じて担当課及び事務局との意見交換等も実施



④意見の集約（2分程度）

- ・担当課及び事務局の説明や質疑応答、意見交換を踏まえ、実施担当課における今後の方向性（拡充・現状維持・見直し・縮小）の妥当性を、多数決により判定
- ⇒審議会として考える事務事業の今後の方向性（拡充・現状維持・見直し・縮小）を提示

3 外部評価の結果

（1）結果概要

各事業の担当課の評価（担当課が考える今後の方向性）について、審議会から以下のような評価結果が示されました。

【担当課の評価と外部評価結果の比較】

事業名	担当課の評価 (今後の方向性)	外部評価結果 (審議会の意見)
かすかべフードセレクション推進事業	現状維持	拡充
新産業創出支援事業	現状維持	拡充

（2）各事業の評価結果

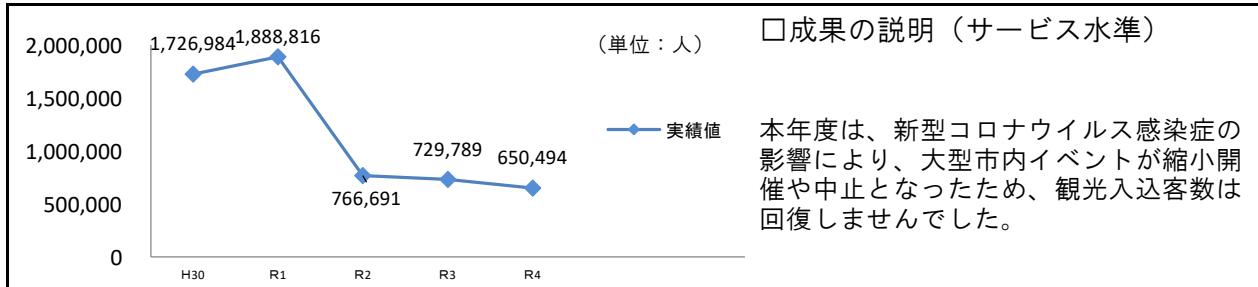
外部評価対象事業の行政評価シート及び評価結果は、次ページ以降のとおりです。

なお、委員からいただいた意見については、今後の取組に向けた参考として担当課にフィードバックし、事業に反映できるものについて検討した上で、事業の見直し等に繋げていきます。

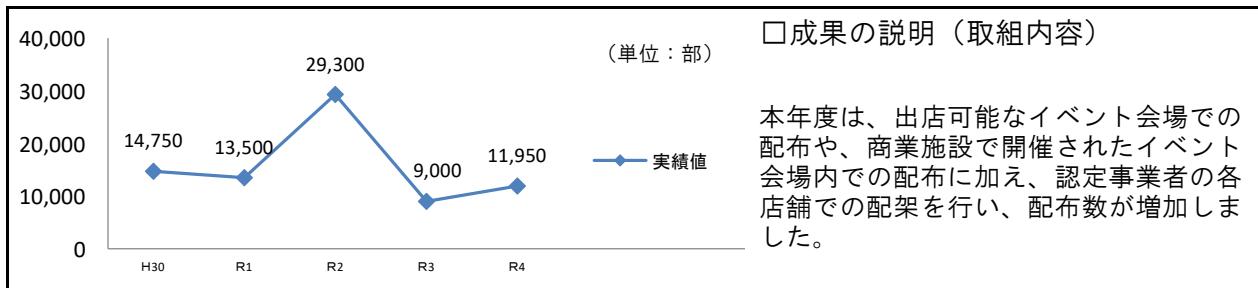
施策番号	5-1-1	実施計画No.	116	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	かすかべフードセレクション推進事業					課名	観光振興課	
事業内容	市の優れた食品を「かすかべフードセレクション」として認定し、認定した产品を市内外に広くPRすることで地域ブランドの構築を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
事業内容						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	平成25年10月の事業開始以降、事業のコンセプト観点から逸れることなく、一定レベル以上の商品を認定しています。更なる春日部の食に関するイメージ向上、観光資源としての知名度向上を視野に入れ、第4期の認定準備を進める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	4,087	5,052	2,205	475	7,377

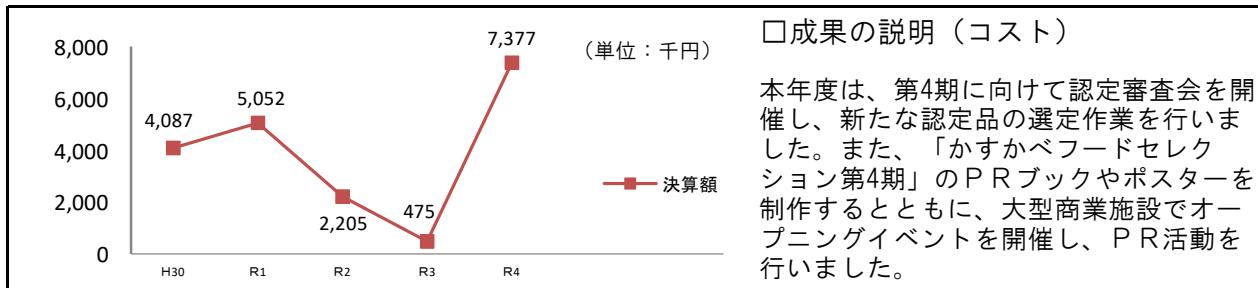
1 観光入込客数



2 カタログの配布数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、コロナ禍において出店可能なイベントに参加するとともに、市内商業施設でのPRイベントを実施することで、地域経済の活性化、春日部の食に関するイメージ向上に寄与したと考えられます。また、「第4期」に向けて、認定審査会を実施し、第4期認定品として25品を決定したことにより、新しいPRツールとして、「第4期PRブック」を制作し、積極的に発信しました。				
今後の方向性	現状維持	春日部市観光振興基本計画中間モニタリング調査の結果、市内来訪者の「食」に関する興味・関心が高い傾向がみられることから、「第4期」として更なるイメージアップにつなげるため、認定事業者や（一社）春日部市観光協会等との連携を図りながら、効果的なPRを推進していきます。			

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

■追加資料

別紙のとおり

■担当課の主な説明等

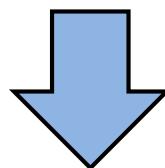
- ・現時点では事業者から申請された食品を対象としているところ、様々な商品を認定するため、事業者に対して積極的なPRを行っていきたいと考えています。
- ・優れた食品の生産に取り組む事業者への補助金等はないが、他課が所管する補助金として、空き店舗を利用して創業を行う方向けの「かすかベンチャー応援補助金」があります。
- ・春日部市観光協会と連携し、春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」で認定品の常設販売を行っています。また、同協会は、市内外でのイベントで認定品の販売を実施しているほか、SNSにおいても情報を配信しています。
- ・市民へのPRとして、公共施設でのPRブック配布や広報かすかべでの紹介、SNS配信を行っています。今後は、新庁舎のスペースを活用したPRイベント等も検討しつつ、イベントへの出店機会をさらに増やし、事業の認知度を上げていきたいと考えます。
- ・PRブックを広報かすかべの折込とすることは難しいところですが、令和5年4月号では、2ページにわたる特集記事として、かすかべフードセレクションを紹介しました。今後も、公共施設でのPRブック配布やイベント出店、SNS配信等により、広くPRしていきます。なお、スマートフォンでもご覧いただけるよう、市ホームページ等でデジタル版によるPRにも努めています。

■委員の主な意見

- ・インターネット上の口コミや市民の声を吸い上げる等により、さらにPRすることができないか検討をお願いします。
- ・SNSを使って広告していますが、ブロガーやインフルエンサー等を活用した別の方法も検討願います。
- ・対象商品を増やすために、市から事業者に働きかけ、コラボレーション商品を企画し事業者に販売してもらうことはできないか検討をお願いします。
- ・新しい対象商品を取り入れるにあたり、その窓口となるようなイベントを開催されると良いと考えます。
- ・対象商品をふるさと納税の返礼品としてPRすると良いと考えます。
- ・現在の成果指標では事業効果を捉えることが難しいため、例えば、対象商品をふるさと納税の返礼品とした場合に納税額がいくら増加するか等、指標の検討をお願いします。

■評価結果

【外部評価結果としての今後の方向性】 【拡充】：予算・取組増の上で継続



■外部評価実施後の担当課の検討状況（外部評価結果の反映に向けた検討内容等）

【事業のPR方法について】

市のインスタグラムやツイッターを活用し、情報発信に対する市民の反応等、より多くの方の声を吸い上げられるようPRしてまいります。インフルエンサー等の活用については、令和5年度にインフルエンサーと市内を巡り情報発信するツアーを実施していることから、今後、フードセレクション推進事業での活用についても検討してまいります。

【対象商品の増加に向けた今後の方策について】

次期認定に向けては、商工観光団体とも連携を図りながら新規事業者向けの説明会を開催するなど、新たな商品企画や積極的な応募に繋がる取組を検討してまいります。

【対象商品をふるさと納税の返礼品とすることについて】

認定事業者には、ふるさと納税の返礼品として登録していただけるよう、ふるさと納税の所管課と連携を図りながら、積極的に案内してまいります。

【事業効果の測定及び指標の検討について】

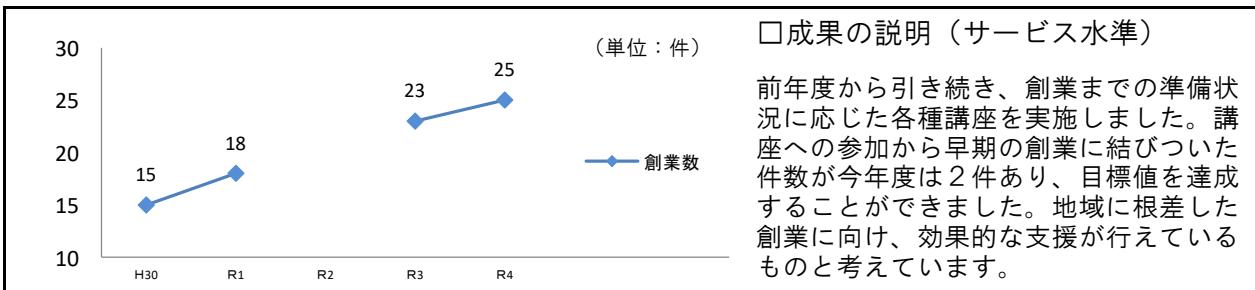
今後は、より事業効果を捉えられるような成果指標を設定してまいります。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

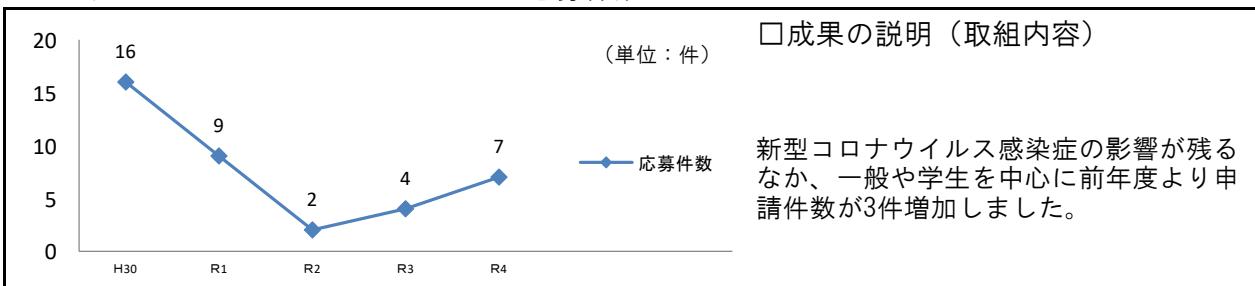
施策番号	5-2-2	実施計画No.	123	重点プロジェクトNo.	②-60	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	新産業創出支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	中小企業者の事業拡大や創業を考えている人材の育成を促進するため、創業に関するセミナーや地域に新しい価値を創造するビジネスプランのコンテストを実施します。					事業開始年度	平成27年度	
事業内容						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数					現状値 (平成29年度)	11件	
現状と課題	既存産業の構造変化が進む中で新しい産業が期待されています。地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する継続した支援が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値		10件	12件	14件	16件
成果指標の実績値		15件	18件	-	23件
達成率		150.0%	150.0%	-	143.8% 138.9%
決算額(千円)	253	253	127	287	340

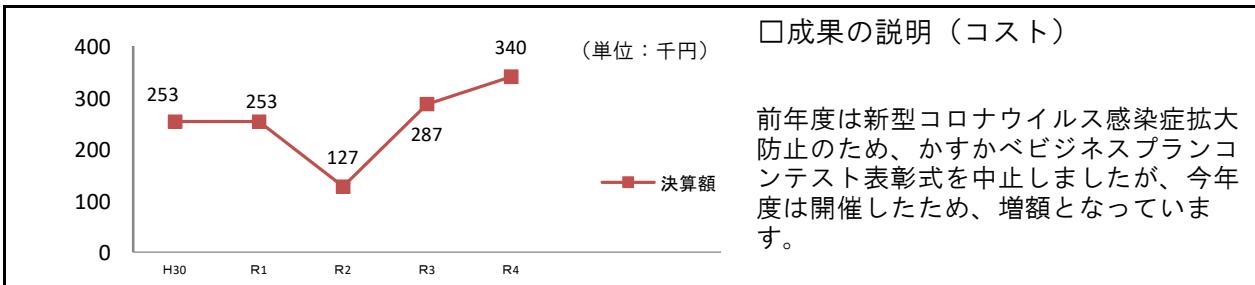
1 市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数 ※R3の数値について修正あり



2 かすかべビジネスプランコンテスト応募件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から前年度開催を中止していたかすかべビジネスプランコンテスト表彰式について、感染対策を行いながら再開しました。また、昨年度に引き続き、かすかべベンチャー応援補助金の活用対象となる創業者を募集し、新たな地域産業と雇用の創出による地域活性化を図りました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する支援のさらなる充実を図ります。また、セミナーなどについても、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

■追加資料

別紙のとおり

■担当課の主な説明等

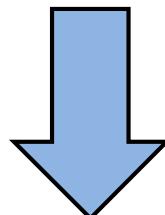
- ・費用の発生が見込まれることや肖像権などの課題もあることから、かすかべビジネスプランコンテスト受賞の模様や発表について動画等で公開することは、現時点では予定しておりませんが、受賞者の名称及びプラン名等については市公式ホームページに掲載する予定です。
- ・部門賞である最優秀賞及びふれあいキューブ賞、グッド・アイディア賞の受賞者には、賞状及び記念品として桐の名刺入れ（学生以外）や桐のペンケース（学生）を贈呈しています。部門に関係なく選出される団体賞である春日部商工会議所賞及び庄和商工会賞、春日部市商店会連合会賞では賞状を贈呈しています。
- ・情報発信としては、近隣市町村や市内金融機関等へのチラシの配架のほか、市公式ホームページ及び広報、SNS（Facebook、X（Twitter）、LINE）、安心安全メールで周知したところです。

■委員の主な意見

- ・市内で継続的に雇用される状況になれば市の歳入にもつながると思います。良い取組ですので継続してください。
- ・かすかべビジネスプランコンテストを動画等で配信することについて検討願います。
- ・創業支援ルームを卒業後、移る場所がなく自宅に戻って事業を縮小してしまう方や、市外に出てしまう方がいると考えられるため、市内で起業する魅力をアピールできれば、より一層定着すると思います。
- ・起業後の継続支援が重要ですので、フォローアップ体制を構築し、事業が定着するよう検討をお願いします。
- ・成果指標である「創業塾」を受けて起業した件数のうち、現在も事業を継続している件数を把握する必要があると思います。
- ・効果的な事業とするため、リノベーションまちづくりと連携して事業を進めることについて検討をお願いします。

■評価結果

【外部評価結果としての今後の方向性】 【拡充】：予算・取組増の上で継続



■外部評価実施後の担当課の検討状況（外部評価結果の反映に向けた検討内容等）

【かすかべビジネスプランコンテストの配信について】

参加者の肖像権及びプライバシーなどの課題を整理し、実施について検討してまいります。また、あわせて効果的な事業のPR方法を検討してまいります。

【起業後の支援策について】

春日部商工会議所、庄和商工会、東部地域振興ふれあい拠点施設創業支援ルームなどに相談窓口を設けています。関係機関と連携し、創業後においても企業を支援してまいります。

【起業後の状況把握について】

創業塾を受けて起業した方について定期的に調査を行い、事業が継続されているかなどの状況を把握するよう努めてまいります。

【リノベーションまちづくりとの連携等、効果的な事業に向けて】

リノベーションまちづくりの担当部署とも情報共有を図りながら、効果的な事業運営のため、適切に連携してまいります。

外部評価対象事業に関する参考資料

実施 計画 No.	事務事業名	節	細節	決算額 (円)	内訳	備考	合計 (円)
116	かすかべフードセレクション推進事業	需用費	報償費	31,200	かすかべフードセレクション有識者会議謝礼 (R4.11.11開催) 【有識者会議の主な内容】 かすかべフードセレクションの認定、販売戦略等に関する意見交換	共栄大学教授、共栄大学准教授、春日部商工会議所中小企業相談所主事、庄和商工会経営支援員、(株)アイビーアイ国際クッキングスクール副校長、東彩ガス料理教室講師 6名 × @5,200円	
			消耗品費	555,171	認定品の審査会及びPRに要する消耗品の購入 (啓発・展示用品、認定証、記念品ほか)		
			食糧費	11,310	事業PR用の認定品及び認定審査会に要する飲料		
			印刷製本費	1,340,927	認定品募集に係るA4チラシA2ポスター 60,500円 認定品シール 141,240円 認定マーク入り紙袋 739,200円 認定マーク入りビニール袋 399,987円		7,377,008
		委託料			かすかべフードセレクションPRツール作成業務委託 4,939,000円 【業務委託の主な内容】 第4期認定品のPRブック (A5サイズ 32ページ30,000部) ポスター (B2ポスター200部) 作成の委託	株式会社 昭文社	
			業務委託料	5,438,400	第4期かすかべフードセレクションオープニングイベント運営業務委託 499,400円 【業務委託の主な内容】 オープニングイベント運営 (R5.3.12イオンモール春日部にて開催) 認定品の認定証交付式、殿堂入り食品の記念品贈呈式、認定品販売会	一般社団法人春日部観光協会	
123	新産業創出支援事業	需用費	報償費	140,000	店舗出店のキソを学ぶ「創業塾」 講師謝礼 90,000円 かすかべビジネスプランコンテスト 審査員謝礼 30,000円 かすかべビジネスプランコンテスト表彰式 司会者謝礼 20,000円	講師A (中小企業診断士、シニア商業施設士) 講師B (不動産管理会社) 審査員A (大学教授) 審査員B (税理士)	
			消耗品費	61,226	ビジネスコンテスト表彰式に係る経費		
			印刷製本費	101,640	ビジネスプランコンテスト募集チラシ 35,750円 ビジネスプランコンテスト表彰式チラシ・パンフレット 65,890円		339,866
		負担金、補助及び 交付金	事業費補助金	37,000	春日部市法人設立応援補助金 1件 (中古建設機械買取・販売)	市内で初めて起業した人で一定の要件を満たす人を対象に、 法人を設立する際にかかる登録免許税の一部を補助。	